



アプローチ

歴史的景観形成地区である「山の下寺院群地区」に位置し、隣接する「九谷の杜親水公園」と一体的に整備された本美術館は、石川県の代表的な伝統工芸品である「九谷磁器専門美術館」として、九谷焼発祥の地、加賀市に計画されました。

建物外観については、寺院群に対峙する大屋根に当地区で伝統的に使われてきた赤瓦を使用すると共に、外壁も落ち着いた漆喰塗りを採用しています。

平面的には、中庭を中心に回遊式に展示室群を配置し、ゆったりと鑑賞できるように配慮しています。

陶磁器に対応して、自然素材の仕上げ材を多用しており、特に近年使われることの少なくなった左官手法が楽しめます。



入口ホール



北庭

DATA

加賀市大聖寺地方町地内
平成12年11月完成
RC造：2F
延 2,149㎡